



各 位

平成 20 年 4 月 18 日

会社名 FDK 株式会社
 代表者名 代表取締役社長 杉本 俊春
 (コード番号 6955 東証第一部)
 問合せ先 財務経理部長 辻井 浩二
 TEL (03)3434 - 1271

平成 20 年 3 月期の業績予想の修正について

平成 19 年 10 月 31 日の中間決算発表時に公表した平成 20 年 3 月期の通期の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

(1) 連結通期 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	122,200	3,700	1,250	800
今回予想(B)	113,668	1,909	2,340	3,105
増減額(B)-(A)	8,532	1,791	3,590	3,905
増減率	7.0%	48.4%	-	-
(ご参考)前期実績	121,537	1,235	122	130

(2) 単独通期 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	60,700	1,400	450	650
今回予想(B)	57,124	14	2,602	2,894
増減額(B)-(A)	3,576	1,386	2,152	2,244
増減率	5.9%	99.0%	-	-
(ご参考)前期実績	60,682	119	803	619

(3) 修正の理由

連結業績予想につきましては、売上高は、これまで当社が注力してまいりました積層チップインダクタなど携帯電話向けの電子部品やモータ・光通信部品は伸長しました。しかし液晶テレビ市場の熾烈な市場競争に伴う電子部品への値下要求に加え、海外のセットメーカーでの内製化の進行などの影響により、液晶ディスプレイ用信号処理モジュール、液晶バックライト用インバータモジュールなど液晶関連製品の受注が落ち込み、前回予想を下回る見込みです。

損益面につきましては、上記液晶関連製品の売上減による収益減少および原材料価格の高騰によるアルカリ乾電池の利益率低下などにより、営業利益が大幅に減少する見込みです。また期末にかけて急進した為替相場の変動による為替差損と台湾子会社の事業所閉鎖に伴う損失2億33百万円^{注1}を計上することから当期純損益は前回予想に比べ大幅に下回る見込みです。

単独業績予想につきましては、新規受注の獲得、事業の効率化など収益確保に取り組みましたものの、連結業績同様、液晶関連製品の受注減や販売価格の下落、原油高騰の影響によ

る原材料価格の上昇や為替相場の変動などの影響が大きく、前回予想を下回る見込みです。

なお、すでに開示しております子会社に対する貸倒引当金の戻入益 92 百万円、子会社への固定資産の譲渡益 2 億 43 百万円を特別利益として計上する一方で、子会社株式の評価損 4 億 17 百万円^{注2}を特別損失として計上いたします。

注 1) 台湾子会社の事業所閉鎖

FUCHI ELECTRONICS CO., LTD (連結子会社) の台中工場を本年 6 月を目処に閉鎖を進めており工場閉鎖に伴う損失引当として 233 百万円を特別損失 (連結) として計上いたします。

FUCHI ELECTRONICS CO., LTD の概要

本社・桃園工場	No.355, Section 2, Nankan Road, Rutsu Shan, Tao Yuan, Taiwan
台中工場	No.70, Thirty-fifth Road, Industrial District, Siehe Village, Situn District, Taichung, Taiwan
代表者	樽井保夫
資本金	508.5 百万台湾ドル
当社の出資比率	100%
事業内容	液晶関連製品の製造・販売

注 2) 子会社株式の評価損

株式会社 FDK メカトロニクス (連結子会社) の株式評価損として 417 百万円を特別損失 (単独) として計上いたします。

株式会社 FDK メカトロニクスの概要

所在地	静岡県湖西市鷺津 2281
代表者	村松久仁昭
資本金	450 百万円
当社の出資比率	100%
事業内容	モータの製造・販売

(注意事項)

上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績等は、今後様々な要因により、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合があることをご承知おきください。

以 上